

2

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

幸田文「おとうと」による

幸田文「おとうと」による

一 この文章を二つの場面に分けるとすると、それぞれどこからか、二つ目の場面、三つ目の場面の最初の五字を答えなさい。

二 文章中の波線部ⅠⅡⅢのカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直し、楷書でていねいに書きなさい。

Ⅰ タネ

Ⅱ ヒトしい

Ⅲ 留守

三 —— 線部①「父は」は、どこにかかるか、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 故意を

2 信じたくない

3 話しぶりを

4 見せていた

四 —— 線部②「瞬間しゅんかんをおかず悲しさが姉へ乗り移ってきた」とあるが、このとき碧郎はどんなことが悲しかったのか、説明しなさい。

五 —— 線部③「そうだろうと思ったのは当たっていた」とあるが、その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 弟が同級生に腹を立てわざとけがをさせてしまったこと。

2 弟が誰からもかばってもらわなかったこと、孤立していたこと。

3 相手のけががひどくなかったために弟も軽く許されたこと。

4 けがをした子の親が駆けつけて弟をひどく叱りつけていたこと。

六 碧郎はどんな少年なのか、その容姿について描かれている一文を抜き出し、はじめの三字を答えなさい。

七 出島中学校の二年一組では、この文章のよさについて話し合いました。次の【話し合いの様子】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの様子】

山田さん この文章は、（ ア ）の心情を中心に描かれていますよね。

田中さん はい。父や母、碧郎の様子も細やかに描かれ、読者は自然と作品の世界に引き込まれます。

中村さん 私は心情表現が素晴らしいと思います。例えば、（ イ ）ところがいいと思います。

(1) 【話し合いの様子】の(ア)に入る言葉を、文章中から二字で抜き出しなさい。

(2) 【話し合いの様子】の(イ)に入る最も適切な言葉を、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 父は碧郎を信じて今回の事件に冷静に対応しており、優しく接する人物として描かれている
- 2 学校へ仲良く登校する姉弟の明るい場面が、事件によって一転して暗く緊迫した場面が変わる
- 3 耳だけをそっちへやって炊事するげんの様子から、家族の状況を気にしていることが読み取れる
- 4 文章の中で、「かぐわしい」や「こしらえる」などの、日本古来の美しい言葉が使われている